

学校名 朝霞市立朝霞第一中学校
所在地 朝霞市膝折2-31
電話 048-461-0076

1 本校の概要

3年前に開校60周年を迎え、新校舎に移転した。学校図書館は校舎の中央に位置し、1階生徒玄関から入ると正面に開設されている。多目的ホールとして活用可能な閲覧コーナー、ウッドデッキ式の読書スペース、ソーラーシステムによる床暖房。このような充実した環境を通して、学校図書館を活用した読書活動を推進している。



2 本校の実践の概要

(1) 本校の実践の特色

朝霞市で平成15年より全校に配置した学校図書館サポートスタッフと学校図書館司書教諭との連携により、学校図書館教育の充実に努めている。

《朝の読書活動》

週2回10分間の朝の読書活動を始めて2年目を迎える。学級活動として、学校図書館から朝の読書のための本を借りるなど読書活動を広げている。

《フリーライブラリーの活用》

閲覧スペースに寄贈本からなる「フリーライブラリー」を設置、貸し出し手続きをしなくても自由に借りることが出来るようにし、開放的な読書の空間を作り出す工夫をした。保護者の方に呼びかけて収集した書籍には中学生にぜひ読ませたいという願いが感じられる。

《500ページ読書運動》

図書委員会主催で「500ページ読書運動」を展開している。全校に向けて「500ページ読書運動カード」を配布して、生徒朝会で表彰

している。達成者には賞状と図書委員会作成の記念のしおりを授与し、図書館便りにて達成者を顕彰している。全校で読書に積極的に取り組む機会として定着している。

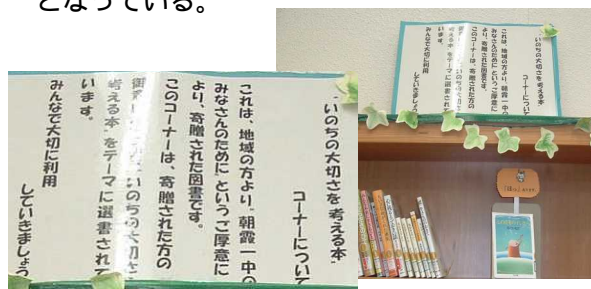


《出前本コーナーの設置》

4階は1学年の教室が並んでおり、1階の図書館とは離れているため、図書館の本のアピールが必要ということからスタートした取組である。図書館の本を1年生用に選書して4階廊下に設置して「出前本コーナー」とし、図書館との距離をなくす企画である。定期的に入れ替え、楽しみにしている生徒が増えてきている。

《寄贈本「命を考える本のコーナー」》

昨年、一保護者より卒業記念としての寄贈本を頂戴した。生命の尊厳という親の願いが伝わるよう「命を考える本」として特別コーナーを開設したことにより、本校図書館の特色の一つとなっている。



3 成果と今後の課題

図書委員会の読書アンケートでは、朝の読書により読書の時間が増えたと答えた割合が高くなるなど、朝の読書が読書活動に与えた影響は大きい。

今後は読書活動の内容の向上を考えていく必要がある。受け身的な姿勢の読書から、進んで読書に親しもうとする生徒の育成を目指していきたい。また、授業の中での学習活動における積極的な読書活動を推進していくために指導方法の研修を進めていくことも重要である。